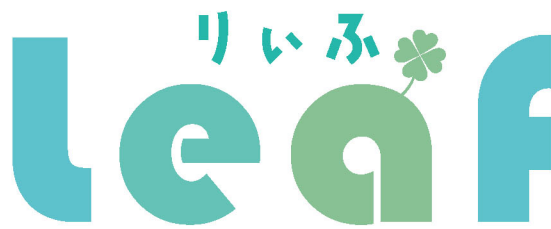


常磐病院  
地域連携だより



2022年6月30日発行

TOKIWAKAI GROUP  
Jyoban Hospital

Vol.47

<https://www.tokiwa.or.jp/leaf/>

June 2022

TAKE FREE



Jyoban Hospital  
Clinical Training Center

NEW  
STAFF

Junior Resident Physicians

初期研修医を  
ご紹介します



### 常磐病院臨床研修センター

ときわ会常磐病院は、2021年3月に福島県から「基幹型臨床研修病院」の指定を受け、この春から2名の初期研修医を受け入れました。今回は、初期研修医の受入業務を担う「常磐病院 臨床研修センター」と併せ、2名の初期研修医をご紹介します。

ときわ会常磐病院では、地域の医療施設・介護施設との連携を強化するため、当院の最新の医療情報を定期的にお知らせしております。



公益財団法人

ときわ会  
TOKIWAKAI GROUP

常磐病院  
Jyoban Hospital





(写真左)澤野豊明医師 (写真右)尾崎章彦医師

**Q** 常磐病院臨床研修センターの特徴を教えてください。  
**澤野** 常磐病院の臨床研修の魅力は何よりも一人ひとりの研修医に

リクルート・教育を進めることが不可欠です。常磐病院としても、この課題に貢献すべく、2019年から、基幹型臨床研修病院(厚労省が定める基準を満たし、独自の研修プログラムに基づき初期研修医の指導を行う病院)になるための活動を開始、2021年3月に認可をいただきました。この4月より、2名の初期研修医を受け入れるに当たってその教育を担当する部署が必要となり、臨床研修センターが設立されました。

01

臨床研修センター長 尾崎章彦医師  
副センター長 澤野豊明医師

## INTERVIEW

**Q** 臨床研修センター設立までの経緯を教えてください。

**尾崎** いわき市においては、多くの先生方のご尽力により、これまで市民の健康が守られてきました。一方で、同市では、かねてより医師不足が深刻でした。今後、長期にわたり、安定的に良質の医療が市民に行き届くためには、地域一丸となり、若い医師の



対して、それぞれに合った研修を提供できることです。大きな病院では研修医側が、病院が用意する研修に合わせる事が多いと、思いますが、当院は小さい分ある程度研修医がやりたい事に合わせることが出来ます。勿論、大きな病院ほど診療科は多くないですが、透視や泌尿器科は東北トップレベルですし、県内外の連携病院とも協力し、私たち指導医側もこまめにレクチャーを用意するなど工夫して研修を行っています。福利厚生や食事(3食提供可)など、研修に集中する環境も整っています。

大きな病院での経験もしたい場合には大学や都内の病院で研修ができることも当院で研修を行うメリットです。

**Q** 研修センターを通して、どのようにいわき市に貢献していきたいとお考えですか？

**尾崎** まずは、初期研修医のリクルート・教育を推進し、常磐病院の医療体制をより強固なものとしていきたいです。それにより、市民の方々に医療の面から貢献することが当面の目標です。また、そのような取り組みにより、日頃連携させていただいている医療機関の先生方におかれましては、大事な患者様をこれまで以上に安心して紹介いただけるようになるのではと考えております。さらに、それにとどまらず、若い初期研修医には、院内の既存のスタッフや他施設の先生方、市民の方々と積極的に交流を促し、いわき市に新たな風を届けてほしいと考えています。



毎週金曜日AM8時から勉強会。指導医はもちろん薬剤師や検査技師などから指導を受けることも。



4月に入職して2週間目、看護部指導のもと採血・点滴の練習。



(写真左)坂橋芳弘医師 (写真右)大森一徹医師

**Q** 病院や研修医の居心地はいかがですか？  
**坂橋** 仕事は分からないことだらけです。

い事に合わせる必要があります。勿論、大きな病院ほど診療科は多くないですが、透視や泌尿器科は東北トップレベルですし、県内外の連携病院とも協力し、私たち指導医側もこまめにレクチャーを用意するなど工夫して研修を行っています。福利厚生や食事(3食提供可)など、研修に集中する環境も整っています。

02

初期研修医 大森一徹医師  
初期研修医 坂橋芳弘医師

## INTERVIEW

**Q** 常磐病院を選んだ理由を教えてください。

**大森** 実際に指導していただく先生方ほとんどとお話しし、ここでもらった情報が、そう思ったことが一番大きいです。先生方がとても優しく熱心だったからですね。あとは1期生というのが面白そうだったからです。

**坂橋** 常磐病院は人数での研修体制であるため、症例の取り合いなどがなく多くのことを学べると考えました。また、常磐病院でたすき掛け研修をされた先生から、豊富な手技経験を積める病院である何と何とていたためこの病院を選びました。



澤野医師指導のもと腹腔鏡の縫合練習ハンズオン。



ダヴィンチを用いた鼠径ヘルニア手術見学。

**大森** すごく働きやすいです。先生方には質問しやすいですし、名前を覚えてくれたスタッフも増えてきて、少しずつ仕事を振ってもらえるようになりました。研修医の居心地はもういいです。が、邪魔でも病棟にいます(笑)。

**Q** スタートして間もないですが、今後の抱負をお聞かせください。

**大森** 毎日勉強しなければいけないことが山積みですが、丁寧に目の前の患者さんを診ていくこと、その積み重ねが大事だと思っています。この常磐病院で研修医を迎えるという試みが成功だったと言ってもらえるように、2年後にあいつは成長したと言ってもらえるように、精進していきます。

**坂橋** 研修医2年間の目標は、救急・外来の対応、病棟業務をひととおり出来るようになることです。将来どの専門科に進んだとしても、受け持った患者さんについて他科の併存疾患を含めて責任を持って管理出来る医師になりたいと考えています。



## 公益財団法人ときわ会 常磐病院 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00  
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地  
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。